

うらかみしゆんきん

## 浦上春琴筆「春秋山水図屏風」の高精細複製品を岡山県立美術館に寄贈 綴プロジェクトで作者ゆかりの地への里帰りを実現

キヤノン株式会社（以下、キヤノン）と特定非営利活動法人 京都文化協会（以下、京都文化協会）は、「綴プロジェクト」（正式名称：文化財未来継承プロジェクト）の第18期作品として制作した、米国ミネアポリス美術館蔵「春秋山水図屏風」（浦上春琴筆）の高精細複製品を、岡山県立美術館へ寄贈します。寄贈作品は、2026年7月5日（日）まで同館の屋内広場で一般公開されます。



「春秋山水図屏風」高精細複製品

Minneapolis Institute of Art, Mary Griggs Burke Collection, Gift of the Mary and Jackson Burke Foundation 2015.79.142.1-2

### ■ 「春秋山水図屏風」の高精細複製品をキヤノンのイメージング技術と京都伝統工芸の技の融合により制作

「春秋山水図屏風」は、大画面に巧みな構成で山水を表した屏風の大作です。右隻には春、左隻には秋の風景が、墨と淡彩で絹地に美しく描かれ、それぞれの情景を詠んだ詩も添えられています。作者である浦上春琴は、備前国（現在の岡山県）に生まれ、江戸時代後期に活躍した文人画家で、本作はその代表作の一つに数えられます。

原本は米国ミネアポリス美術館に所蔵されており、日本での鑑賞の機会が極めて限られています。このたび、ミネアポリス美術館に綴プロジェクトの活動主旨にご賛同をいただき、高精細複製品を制作しました。制作した複製品は、浦上春琴作品をはじめとする岡山県ゆかりの作品を数多く所蔵し、地域の芸術文化振興を担う岡山県立美術館に寄贈され、春琴ゆかりの地、岡山県への里帰りを実現しました。

高精細複製品の制作にあたっては、キヤノンのフルサイズミラーレスカメラでオリジナルの文化財を撮影し、独自開発のカラーマッチングシステムを用いた画像処理を行った上で、12色の顔料インクを搭載した大判インクジェットプリンターで出力しています。さらに、京都の伝統工芸士が屏風に仕立てることで、オリジナルの文化財を限りなく忠実に再現しています。

### ■ 岡山県立美術館にて寄贈作品を展示

寄贈作品は、2026年6月10日（水）から7月5日（日）まで、岡山県立美術館の地下1階屋内広場にて一般公開※されます。この展示では、ガラスケース無しで間近での鑑賞や写真撮影を楽しむことができます。寄贈作品は、その後も同館での展示やイベント、教育普及事業などでの活用が予定されています。

※ 開館時間や展示場所の詳細については、岡山県立美術館のホームページをご覧ください。（<https://okayama-kenbi.info/>）

### 〈「綴プロジェクト」について〉

「綴プロジェクト」は、キヤノンと京都文化協会が 2007 年より共同で推進している社会貢献活動です。日本古来の貴重な文化財には、歴史の中で海外に渡った作品や国宝として大切に保管されている作品など、鑑賞の機会が限られているものが多くあります。「綴プロジェクト」では、キヤノンの入力、画像処理、出力に至るイメージング技術と、京都伝統工芸の匠（たくみ）の技との融合により、オリジナルの文化財を忠実に再現した高精細複製品を制作しています。制作した高精細複製品は、文化財にゆかりのある社寺や自治体、博物館などへ寄贈し、寄贈先での一般公開や学校教育の現場において、複製品ならではの鑑賞体験を通じて、多くの方々に日本の文化財に親しんでいただく機会を創出しております。これまでに、葛飾北斎や俵屋宗達、尾形光琳の作品など、60 作品を超える高精細複製品を制作しました。キヤノンと京都文化協会は、綴プロジェクトを通して、多くの人々に文化財の魅力を伝え、日本の文化を継承することを目指しています。

詳細は、「綴プロジェクト」のホームページをご参照ください。 <https://global.canon/ja/tsuzuri/>